

産官学で推進する地域創生： ブルーカーボンがもたらす可能性

2026年早春(振替開催)

3月21日(土)

陸前高田市コミュニティホール&オンライン

13時30分開会、17時30分閉会

事前申込：<https://forms.gle/kdrGVQkXqzAgdfMt7>



参加費無料。ハイブリッド形式です。オンライン参加の方は事前申込が必要です。
(前回申し込まれた方も再度お申し込みください。)
会場参加の方は事前申込がなくても会場に直接お越し頂けます。

主催：
日本学術会議食料科学委員会・農学委員会合同東日本大震災に係る食料問題分科会、
食料科学委員会水産学分科会

共催：
岩手県陸前高田市

後援：
日本農学アカデミー、公益財団法人農学会、公益社団法人日本水産学会、復興農学会
福島大学、東京大学大学院農学生命科学研究科

総司会

関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター教授、日本学術会議連携会員)

開会挨拶

中嶋 康博 (女子栄養大学栄養学部教授、日本学術会議会員)

第一部



地域創生と
カーボンニュートラル

基調講演：

「復興から現在までの振り返りと未来への展望」

佐々木 拓 (陸前高田市長)

「民間企業による持続可能な地域創生」

前田 充穂

(弓ヶ浜水産株式会社取締役)

「海藻養殖による地域創生を目指した研究推進と産業実装」

佐藤 陽一

(理研食品(株)取締役 原料事業部長)

第二部



ブルーカーボンの
科学

「海草・海藻藻場による二酸化炭素貯留機能とコベネフィット」

堀 正和

(水産研究・教育機構沿岸生態系暖流域グループ長、日本学術会議連携会員)

「広田湾における海草類等がもたらす炭素貯留量」

松政 正俊

(岩手医科大学教養教育センター教授)

「バイオミネラリゼーションと炭素循環」

鈴木 道生

(東京大学大学院農学生命科学研究科教授)

第三部



産官学で盛り上げる
地域創生

パネルディスカッション

モデレーター：

八木 信行

(東京大学大学院農学生命科学研究科教授、日本学術会議連携会員)

パネリスト：

アリーン・デレーニ

(東北大学東北アジア研究センター教授)

小山 良太

(福島大学食農学類教授、日本学術会議連携会員)

東海 正

(東京海洋大学名誉教授、日本学術会議連携会員)

閉会挨拶

大越 和加 (東北大学大学院農学研究科教授、日本学術会議会員)

お問い合わせ

<https://forms.gle/PbYkNPGuhzfBzvJy7>

